

ゲートウォール unリブラン550

取付・取扱説明書

トーシン創作門柱をお買い上げいただきありがとうございます。

未永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい施工とご使用をお願いします。

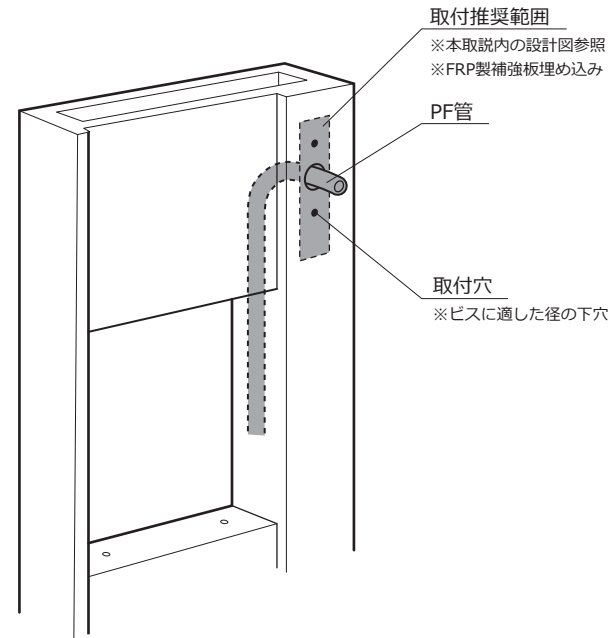
施工上の注意事項

1. 軟弱地盤でのコンクリート基礎の埋め込み深さと範囲（幅と奥行）は下図を参照してください。
 2. 付属部材の取付けの際は締め過ぎにご注意ください。
また、電動ドライバーをご使用の際は低速回転で締め付けてください。
 3. 取付け完了後はネジ類の締めり具合を再度ご確認ください。
 4. 電気配線や結線工事は、電気有資格者にご依頼ください。
 5. 本製品にはインターホン、ポスト、照明、表札は含まれておりません。別途ご購入ください。
 6. オプション品（照明・インターホン等）取付の際の穴空け加工時、振動ドリルをご使用になりますと
キリ貫通裏部が大きく破損、剥離する可能性がありますので回転ドリルをご使用ください。
- ※ 梱包が雨等で濡れると、ダンボールの色が付着する場合がございます。シート等で養生をお願いします。

6 インターホンの取付

1. インターホンの取付位置を推奨範囲内で決めてください。
2. 照明の施工説明書をお読みにになり、ご使用になるビスのサイズをご確認ください。
3. 門柱本体に配線用の穴をFRP用ドリルにて開けてください。
4. インターホンの取付ピッチに合わせ、FRP用ドリルで穴を開けてください。このとき、穴はビスのサイズに適した径で開けてください。
5. PF管を門柱内部の貫通穴を通して、配線用の穴まで引っ張ってください。
6. インターホンの施工説明書に従い、取付を行ってください。

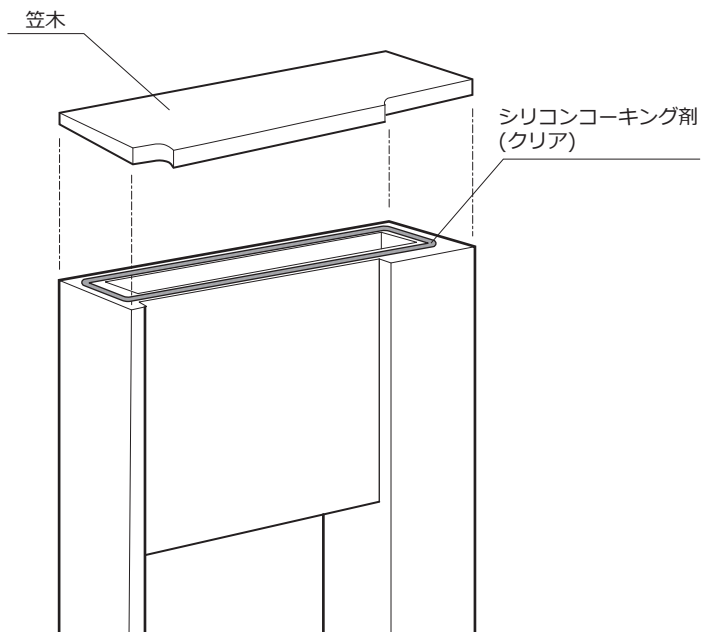
- ⚠ インターホンの取付にPCプラグは使用しません。
- ⚠ カメラ付インターホン設置位置は照明から150mm以上離してください。



7 笠木の取付

1. 門柱本体の上端にクリアのシリコンコーキング剤を塗布してください。このとき、コーキング剤が表面側にはみ出ないように内側寄りに適量塗布してください。
2. 笠木を門柱本体に接着固定する際は、門柱と笠木の側面、門柱と笠木の背面の位置を合わせてください。

- ⚠ コンクリートボンドの使用はご遠慮ください。コンクリートボンドで笠木と本体を固定しますと、緊急の対応時に笠木もしくは本体を傷つけてしまう可能性があります。
- ⚠ カラーのシリコンコーキング剤を使用しますと、塗布量過多、塗布位置によっては笠木と本体の隙間からコーキング剤がはみ出し、外観を損ねる可能性があります。



<注意事項>

製品の特性上、本製品は背面に2つの穴が設けてあります。この穴は、夏季 門柱の空洞部分の空気が膨張することによって起きる表面のひび割れを防止するための通気孔です。決して塞がないで下さい。

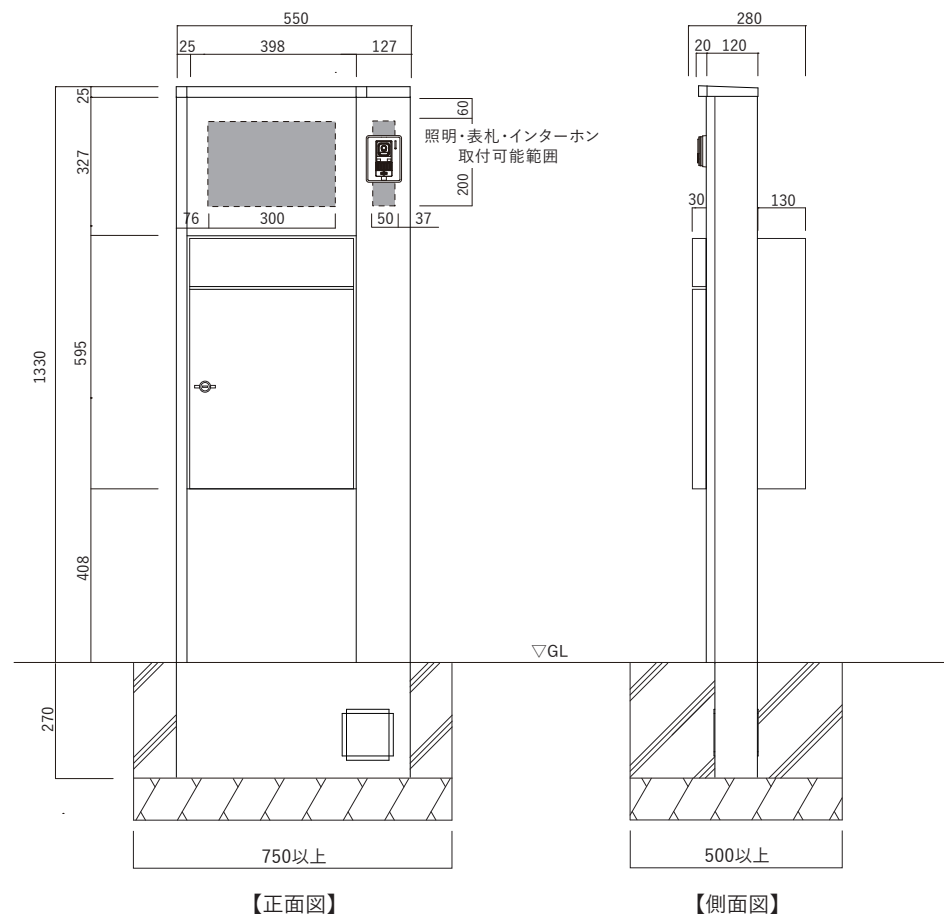
本製品は改良のため予告なしに仕様等を変更することがありますのでご了承下さい。

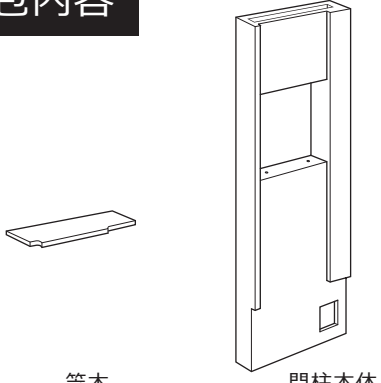
株式会社 トーシンコーポレーション

首都圏GRC営業所 〒152-0001 東京都目黒区中央町2-35-13 TEL 03-3715-5566
西日本GRC営業所 〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-4-22 肥後橋プラザビル5階 TEL 06-6479-1433
北関東GRC営業所 〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-5 TEL 048-771-9405

設計図

unリブラン550



梱包内容					
		門柱本体	1	ノンヘッドビス M5×25	2
		笠木	1	スプリングワッシャー M5	2
		トラスネジ M6×20	2	緩衝ゴム 90×50(t=3)mm (両面テープ付き)	2
		スプリングワッシャー M6	2	乾式目地材 φ5×1.6m	1
		ワッシャー M6×φ25×1.2	2		
		補修塗料	1		
		取扱説明書	1		

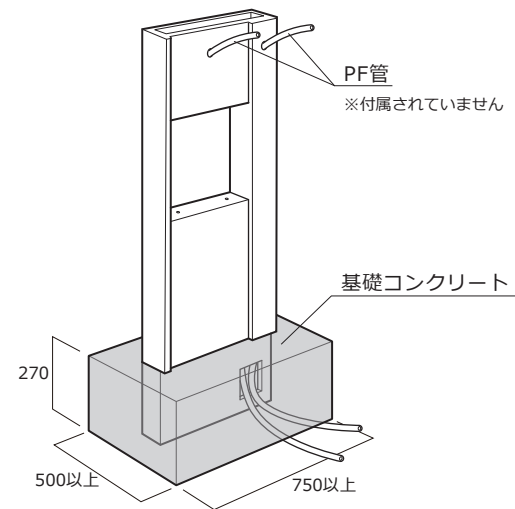
施工手順

1 門柱の設置

- 門柱を埋め込み穴に設置し、門柱の位置を確認して仮固定してください。
- 各種配線を露出しておいてください。
- 埋め込み寸法、門柱の水平・垂直を確認し、コンクリートの打設を行ってください。

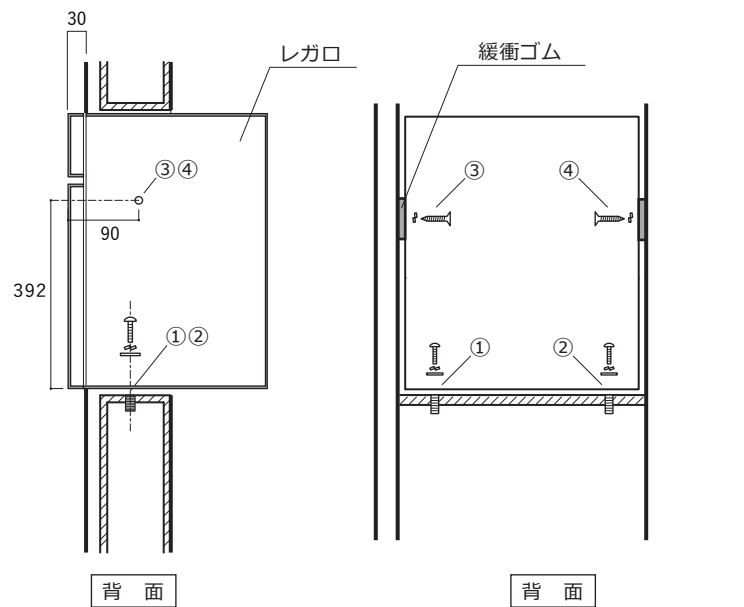
※ 配線の先端は、室内側との接続まで地表に仮出ししてください。

⚠ 本体が配管を押しつぶさないように設置してください。



2 宅配BOXレガ口の取付

- レガ口の扉を開き、中のスノコを取り出してください。
- 両面側の下から392mm正面から90mmのノックアウト部分をプラスドライバーなどで、外側から打ち抜いて穴を貫通させてください。その後、穴位置に合わせて緩衝ゴムを貼り付けてください。
- レガ口を門柱の開口部に入れてください。このとき、扉開閉のかぶりを確保するため、門柱から30mm前に出してください。
- ①②→③④の順に仮留めをして、位置を決定した後、①～④の本締めを行ってください。
- スノコをもとの位置に戻してください。



①②で使用する部品

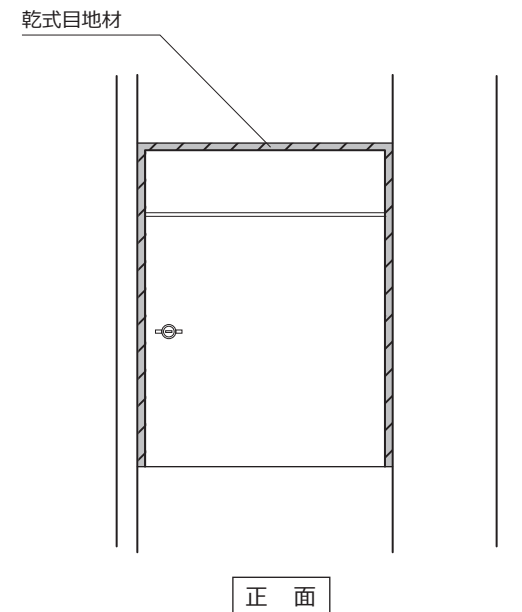
- トラスネジ M6×20 …各2
- スプリングワッシャー M6 …各2
- ワッシャー M6×φ25×1.2 …各2

③④で使用する部品

- ノンヘッドビス M5×25 …各2
- スプリングワッシャー M5 …各2

3 乾式目地材の取り付け

- 右図の斜線部（3辺）に使用します。
- 差し込み治具として、ヘラや定規など、厚さが1～2mm程度あるものをご用意ください。
- 斜線部の下端（どちらか）に、乾式目地材の端部を差し込んで仮固定してください。
- 次にその辺の上端も仮固定してください。その際、乾式目地材を引き伸ばさず、自然長で仮固定してください。
- 差し込み治具を使用して、乾式目地材を順に押し込んでいってください。
- 残りの2辺も同様に、乾式目地材を押し込んでください。
※乾式目地材が極端に入りすぎないように、押し込む際は注意してください。（上辺で、門柱本体表面から1～1.5cm程度が狙い）
- 最後に乾式目地材が余った場合はカットしてください。

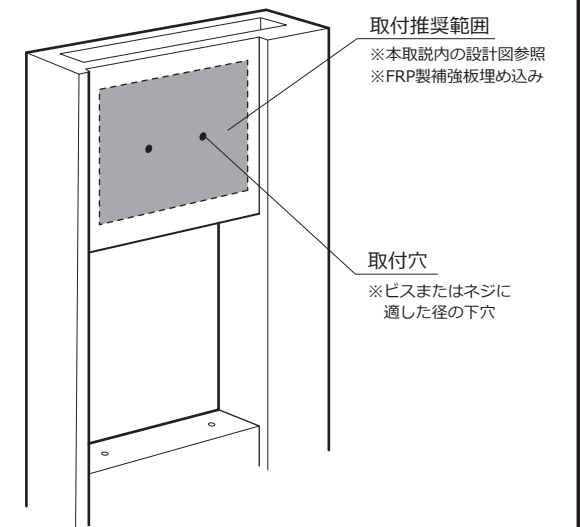


4 表札の取付

- 表札の取付位置を推奨範囲内で決めてください。
- 表札の取付ピッチに合わせ、FRP用ドリルで穴を開けてください。
- 表札の施工説明書に従い、取付を行ってください。

⚠ 表札の取付にPCプラグは使用しません。

⚠ タイルへの穴開けの際は、破損にご注意ください。



5 照明の取付

- 照明の取付位置を推奨範囲内で決めてください。
- 照明の施工説明書をお読みになり、ご使用になるビスのサイズをご確認ください。
- 門柱本体に配線用の穴をFRP用ドリルにて開けてください。
- 照明の取付ピッチに合わせ、FRP用ドリルで穴を開けてください。このとき、穴はビスのサイズに適した径で開けてください。
- PF管を門柱内部を通して、配線用の穴まで引っ張ってください。
- 照明の施工説明書に従い、照明の結線と取付を行ってください。

⚠ 照明の取付にPCプラグは使用しません。

